

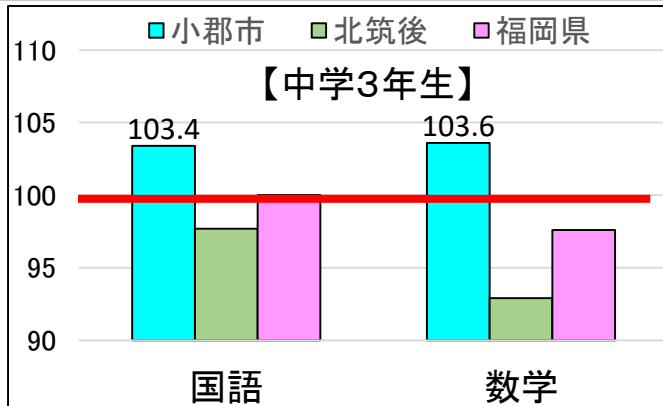
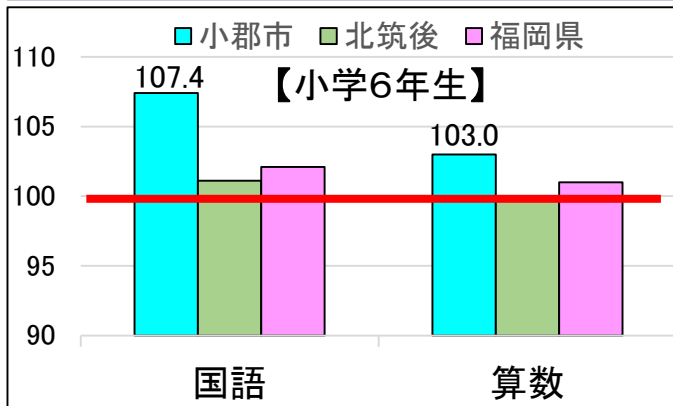
小郡市教育委員会から保護者・地域の皆様へ

文部科学省は、小学6年生と中学3年生を対象に令和6年度「全国学力・学習状況調査」を4月に実施しました。全国、福岡県と比較した小郡市全体の概要と今後の取組についてお知らせします。

※本調査は「生きて働く『知』の学力」の一部を測るものであることを踏まえてご覧ください。

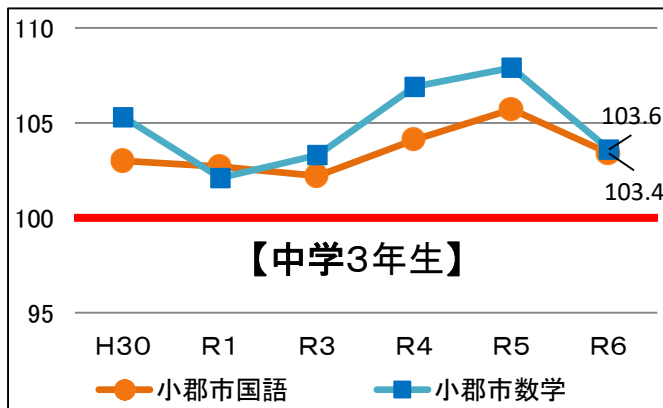
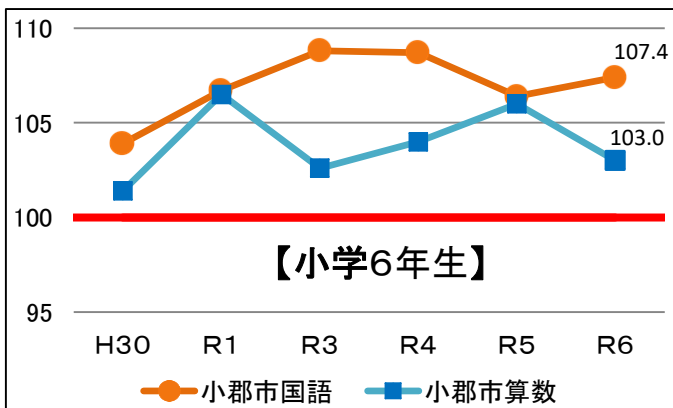
令和6年度全国学力・学習状況調査結果

※縦の目盛りは全国の平均を100(赤の横線)とした時の標準化得点の値で示しています。



過去6年間の学力の経年変化

※縦の目盛りは全国の平均を100(赤の横線)とした時の標準化得点の値で示しています。

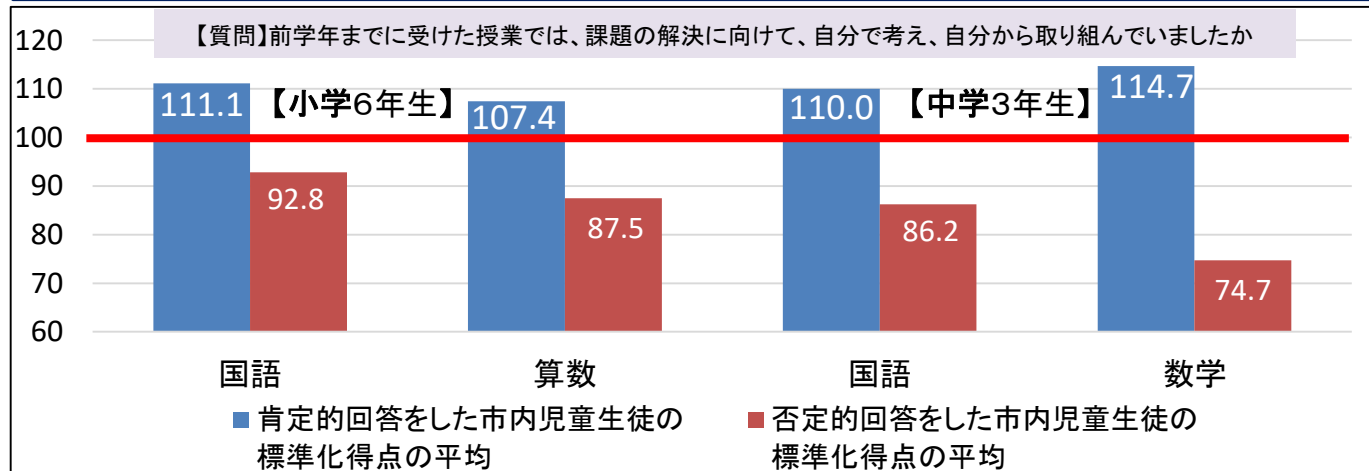


小郡市は、小・中学校ともに、国語・算数(数学)の値は、全国平均を上回っています。平成30年度からの過去6年間の経年変化を見ると、学校の授業改善の取組等により、継続的に全国水準を上回っています。

児童生徒の【主体性】と【学力】の関係

※縦の目盛りは全国の平均を100(赤の横線)とした時の標準化得点の値で示しています。

「主体的・対話的で深い学び」と学力には関係があると言われています。児童生徒質問紙と学力調査の関係を分析した結果、市内児童生徒においても、**【主体性】と【学力】に深い関係があることが分かりました。**

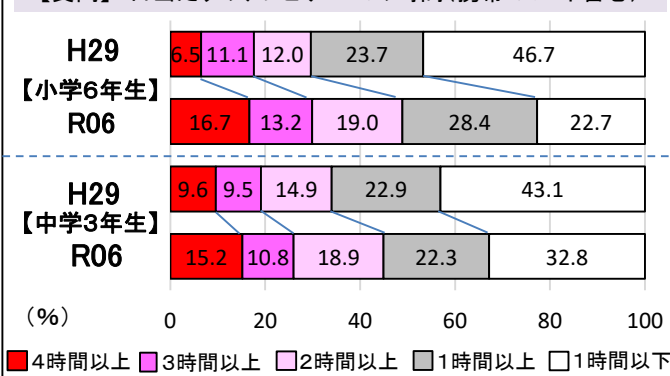


【小郡市の課題】「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」学びの姿は、全国値より低く、児童生徒の主体性を重視し、児童生徒が課題意識をもち、自ら学びを調整する授業改善が必要です。

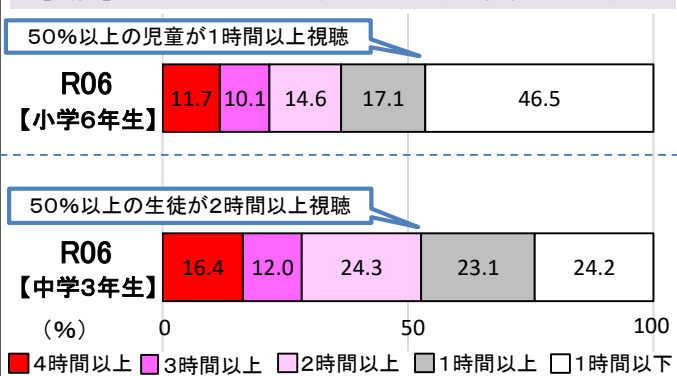
児童生徒の生活習慣の変化と特徴

児童生徒質問紙の生活習慣に関わる項目では、以下のような生活習慣の変化や特徴が見られました。

【質問】1日当たりのテレビゲームの時間(携帯・スマホ含む)



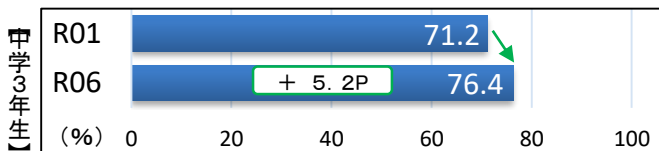
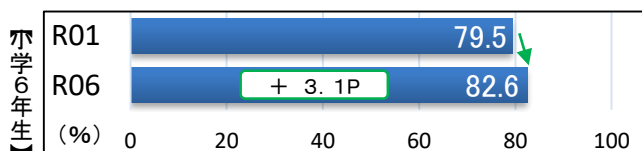
【質問】1日当たりのスマホ等でのSNS・動画視聴などの時間



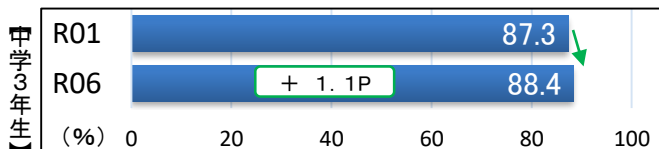
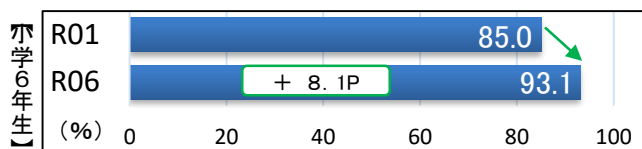
【小郡市の課題】小・中学生ともに、スマホ等を使ったゲーム・SNS・動画視聴の時間が大きく増加しています。

児童生徒質問紙から見える「小郡市学校教育推進構想」の観点からの子どもたちの育ち

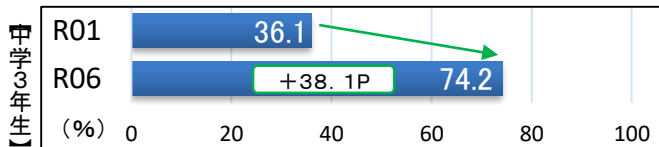
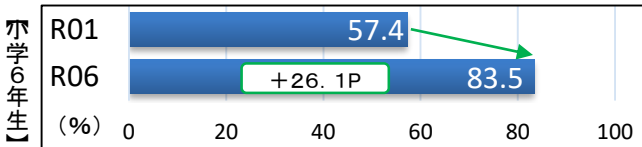
【自律】「自分には、よいところがある」と回答した割合(%)



【共想】「人が困っているときは、助ける」と回答した割合(%)



【郷生】「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した割合(%)



いずれの項目でも、令和元年度からの伸びが見られます。これは、「自律」「共想」「郷生」の3つの目標に向かって各学校で学校教育の重点目標を作成し、地域・保護者と連携した取組を積み重ねた成果です。

小郡市における今後の取組

小郡市では、上記に紹介しました子どもたちのよさ・課題を踏まえ、学校、家庭、地域三者で協働して、子どもたちの「未来に向かい 未来を拓く力」を育てて参ります。

市の取組

☆「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向け、ICTを効果的に活用した授業実践を広めていきます。

☆児童生徒一人一人が目標に向かい繰り返しチャレンジする『主体性を重視した教育』を進めます。

ご家庭へのお願い

以下についてご協力をお願いします。

☆携帯電話やSNS等を使用する際は、家庭でルールを決めて、子どもと一緒に使用状況を確認め合う。

☆家庭での会話やふれあい、読書などの時間をつくり、子どもの頑張りを見守り、励まし、褒める。

学校の取組

☆支える生徒指導を大切に、子ども一人一人が、「学校が楽しい」と思える魅力ある学校づくりを進めていきます。

☆子どもの「課題意識」「アウトプット」「振り返り」を重視した子どもを主語にした日常的な授業改善に力を入れます。

地域へのお願い

以下についてご協力をお願いします。

☆学校の学習や活動へのボランティア(ICT支援、丸付け、ふるさとの魅力紹介等)へのご協力。

☆地域において、子どもたちが貢献・活躍できる場をつくり、子どものよさや可能性を認め、称賛する声かけ。